

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月7日
【四半期会計期間】	第47期第1四半期 (自平成25年4月1日至平成25年6月30日)
【会社名】	株式会社ソフトクリエイイトホールディングス
【英訳名】	SOFTCREATE HOLDINGS CORP.
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長 林 勝
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区渋谷二丁目15番1号
【電話番号】	03-3486-0606(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 経理IR部長 佐藤 淳
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区渋谷二丁目15番1号
【電話番号】	03-3486-0606(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 経理IR部長 佐藤 淳
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第46期 第1四半期 連結累計期間	第47期 第1四半期 連結累計期間	第46期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高 (千円)	2,343,186	2,530,211	10,048,605
経常利益 (千円)	241,858	261,447	1,252,971
四半期(当期)純利益 (千円)	142,772	98,545	645,305
四半期包括利益又は 包括利益 (千円)	152,449	106,679	711,844
純資産額 (千円)	4,809,715	5,628,043	5,310,344
総資産額 (千円)	6,566,017	7,524,641	7,719,055
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	11.23	7.49	50.66
潜在株式調整後1株 当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	11.05	7.08	49.36
自己資本比率 (%)	71.2	72.5	66.7

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 平成25年7月1日付で1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社、連結子会社及び持分法適用関連会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な連結子会社及び持分法適用関連会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当社は、平成25年5月1日開催の取締役会決議に基づき、同日付で株式会社ecbeing（当社100%子会社）及び日本ユニシス株式会社との間で、業務・資本提携契約を締結いたしました。

(1) 業務提携の内容

3社が保有するノウハウや強みを生かし、EC事業分野での競争優位性の確立と事業の拡大を目指して販売協力・技術協力・人材交流等を行ってまいります。

(2) 資本提携の内容

日本ユニシス株式会社は、平成25年5月17日に当社が第三者割当により処分する自己株式218,000株（発行済株式総数に対する割合4.78%）の全てを取得いたしました。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用関連会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州の債務問題やアメリカの財政状況、中国景気の先行き不安等により海外景気の一部に懸念はあるものの、安倍政権が掲げる経済政策「アベノミクス」への期待を背景にした株高・円安傾向が加速し、個人消費の着実な持ち直しや企業の設備投資に改善の兆しが現れるなど、景気は回復基調で推移いたしました。

当社グループが属するIT業界は、EC市場の拡大を背景としたECサイト構築需要の拡大やクラウドサービスの浸透、スマートフォンやタブレット端末の急激な普及などにより、企業のIT投資は順調に推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループの中核事業であるECサイト構築パッケージ「ecbeing」を活用したECソリューション事業の業績拡大に注力した結果、ECソリューション事業売上高の伸長等により、売上高は25億30百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益は2億44百万円（同4.4%増）、経常利益は2億61百万円（同8.1%増）となったものの、今後のデータセンタービジネスの更なる強化に向けた移転費用の発生により、四半期純利益は98百万円（同31.0%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

ECソリューション事業

ECソリューション事業は、ECサイト構築パッケージ「ecbeing」の販売及びプロモーション等の付加価値サービスの売上高が伸長したことにより、売上高は10億89百万円（前年同期比7.7%増）となったものの、セグメント利益は、知名度向上のための広告宣伝費の増加及び積極的な中途採用による人件費の増加により、2億15百万円（同28.0%減）となりました。

システムインテグレーション事業

システムインテグレーション事業は、ウェブフォーム・ワークフロー「AgileWorks」のプロダクト販売及びネットワーク構築売上高の伸長により、売上高は5億28百万円（前年同期比13.5%増）、セグメント利益は1億67百万円（同43.2%増）となりました。

物品販売事業

物品販売事業は、パソコン等のリプレイス需要により、売上高は9億12百万円（前年同期比5.4%増）、セグメント利益は39百万円（同183.5%増）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題に重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

(4) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当第1四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通しについての重要な変更はありません。

(5) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

資産の変動について

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は75億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億94百万円の減少となりました。これは、主に現金及び預金が2億9百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が3億69百万円減少したこと等によるものであります。

負債の変動について

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は18億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億12百万円の減少となりました。これは、主に買掛金が2億45百万円、未払法人税等が2億78百万円減少したこと等によるものであります。

純資産の変動について

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は56億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億17百万円の増加となりました。これは、主に第三者割当による自己株式の処分の実施により資本剰余金が98百万円増加及び自己株式が2億26百万円減少したこと等によるものであります。

(6) 経営者の問題認識と今後の方針について

当第1四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した経営者の問題認識と今後の方針についての重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	17,000,000
計	17,000,000

(注) 平成25年5月21日開催の取締役会決議に基づき、株式分割に伴い平成25年7月1日付で定款を変更し、発行可能株式数は34,000,000株増加し、51,000,000株となっております。

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成25年8月7日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	4,559,313	13,713,039	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	4,559,313	13,713,039		

(注) 1 提出日現在の発行数には、平成25年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

2 平成25年5月21日開催の取締役会決議に基づき、平成25年7月1日付で1株につき3株の割合をもって株式分割を実施いたしました。これにより、株式数は9,118,626株増加し、発行済株式総数は13,677,939株となっております。

3 平成25年7月1日から平成25年7月31日までの間に、新株予約権の行使により、発行済株式数が35,100株増加しております。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日 ~ 平成25年6月30日	900	4,559,313	145	848,853	144	879,094

(注) 1 資本金及び資本準備金の増加は、新株予約権の行使による増加であります。

2 平成25年5月21日開催の取締役会決議に基づき、平成25年7月1日付で1株につき3株の割合をもって株式分割を実施し、発行済株式総数が9,118,626株増加しております。

3 平成25年7月1日から平成25年7月31日までの間に、新株予約権の行使により、発行済株式総数が35,100株、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,895千円増加しております。

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日である平成25年3月31日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 283,700		
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,273,100	42,731	
単元未満株式	普通株式 1,613		
発行済株式総数	4,558,413		
総株主の議決権		42,731	

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、自己株式64株が含まれております。

2 平成25年7月1日付で1株につき3株の割合で株式分割を行っておりますが、記載数値は当該株式分割を反映しておりません。

3 自己株式は、平成25年5月17日に実施した日本ユニシス株式会社への第三者割当による自己株式処分により、218,000株減少しております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ソフトクリエイト ホールディングス	東京都渋谷区渋谷2-15-1	283,700		283,700	6.22
計		283,700		283,700	6.22

(注) 1 平成25年7月1日付で1株につき3株の割合で株式分割を行っておりますが、記載数値は当該株式分割を反映しておりません。

2 自己株式は、平成25年5月17日に実施した日本ユニシス株式会社への第三者割当による自己株式処分により、218,000株減少しております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,617,513	2,827,343
受取手形及び売掛金	1,884,513	1,514,912
電子記録債権	-	7,733
有価証券	1,141	11,846
商品	155,210	108,334
未成業務支出金	99,858	132,460
その他	322,597	254,222
貸倒引当金	524	836
流動資産合計	5,080,311	4,856,017
固定資産		
有形固定資産	315,173	301,061
無形固定資産	410,276	449,439
投資その他の資産		
投資有価証券	1,539,440	1,547,720
その他	385,711	382,889
貸倒引当金	11,857	12,486
投資その他の資産合計	1,913,294	1,918,123
固定資産合計	2,638,744	2,668,624
資産合計	7,719,055	7,524,641
負債の部		
流動負債		
買掛金	954,425	709,156
未払法人税等	293,835	15,106
賞与引当金	236,569	108,939
工事損失引当金	33	2,520
その他	621,458	745,231
流動負債合計	2,106,321	1,580,953
固定負債		
退職給付引当金	134,104	139,138
役員退職慰労引当金	155,554	163,345
その他	12,731	13,161
固定負債合計	302,390	315,645
負債合計	2,408,711	1,896,598
純資産の部		
株主資本		
資本金	848,707	848,853
資本剰余金	905,532	1,003,560
利益剰余金	3,636,281	3,616,160
自己株式	283,599	57,535
株主資本合計	5,106,921	5,411,038
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,485	46,368
その他の包括利益累計額合計	42,485	46,368
新株予約権	23,321	28,770
少数株主持分	137,615	141,865
純資産合計	5,310,344	5,628,043
負債純資産合計	7,719,055	7,524,641

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,343,186	2,530,211
売上原価	1,616,807	1,750,872
売上総利益	726,379	779,338
販売費及び一般管理費	491,714	534,454
営業利益	234,665	244,884
営業外収益		
受取利息	1,741	6,335
受取配当金	278	5,527
貸倒引当金戻入額	1,426	-
受取手数料	1,772	-
為替差益	1,504	-
その他	469	5,655
営業外収益合計	7,193	17,518
営業外費用		
為替差損	-	758
その他	-	197
営業外費用合計	-	955
経常利益	241,858	261,447
特別損失		
固定資産除却損	579	-
事務所移転費用	1,145	74,511
特別損失合計	1,724	74,511
税金等調整前四半期純利益	240,133	186,935
法人税、住民税及び事業税	62,813	22,479
法人税等調整額	32,994	61,660
法人税等合計	95,807	84,140
少数株主損益調整前四半期純利益	144,326	102,795
少数株主利益	1,553	4,250
四半期純利益	142,772	98,545

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	144,326	102,795
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	8,122	3,883
その他の包括利益合計	8,122	3,883
四半期包括利益	152,449	106,679
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	150,895	102,428
少数株主に係る四半期包括利益	1,553	4,250

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(財政状態、経営成績又はキャッシュ・フローの状況に関する事項で、企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の判断に影響を与えると認められる重要なもの)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
減価償却費	59,180千円	65,030千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月9日 取締役会	普通株式	84,724	20.00	平成24年3月31日	平成24年6月8日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月9日 取締役会	普通株式	106,866	25.00	平成25年3月31日	平成25年6月7日	利益剰余金

2 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成25年5月1日開催の取締役会において、日本ユニシス株式会社を引受先とした第三者割当による自己株式の処分を実施することを決議し、平成25年5月17日に払込を受けております。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金が98,027千円増加、自己株式が226,064千円減少し、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,003,560千円、自己株式が57,535千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ECソリューション事業	システムイン テグレーション事業	物品販売 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,011,782	465,469	865,934	2,343,186		2,343,186
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,750		935	2,685	2,685	
計	1,013,532	465,469	866,869	2,345,871	2,685	2,343,186
セグメント利益	299,694	116,908	13,856	430,459	188,601	241,858

(注)1 セグメント利益の調整額 188,601千円は、セグメント間取引10,200千円、その他調整額7,051千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 205,852千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ECソリューション事業	システムイン テグレーション事業	物品販売 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,089,721	528,104	912,385	2,530,211		2,530,211
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,395	8,553	32,058	43,007	43,007	
計	1,092,117	536,658	944,443	2,573,219	43,007	2,530,211
セグメント利益	215,807	167,355	39,282	422,446	160,999	261,447

(注)1 セグメント利益の調整額 160,999千円は、セグメント間取引45,174千円、その他調整額 16,401千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 189,772千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	11円23銭	7円49銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	142,772	98,545
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	142,772	98,545
普通株式の期中平均株式数(株)	12,709,670	13,159,208
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	11円05銭	7円08銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	211,224	758,677
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式について、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注)平成25年7月1日付で1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

株式分割

当社は、平成25年5月21日開催の取締役会決議に基づき、平成25年7月1日付をもって株式分割を実施いたしました。

(1) 株式分割の目的

株式分割を行い投資単位当たりの金額を引き下げることにより、当社株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を目的とするものであります。

(2) 株式分割の概要

分割の方法

平成25年6月30日(日)(当日は休日につき実質的には平成25年6月28日(金))を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式を1株につき3株の割合をもって分割いたしました。

分割により増加した株式数

株式分割前の発行済株式総数	4,559,313株
今回の分割により増加する株式数	9,118,626株
株式分割後の発行済株式総数	13,677,939株
株式分割後の発行可能株式総数	51,000,000株

分割の日程

基準日公告日	平成25年6月14日(金)
基準日	平成25年6月30日(日) 実質的な基準日は、平成25年6月28日(金)
効力発生日	平成25年7月1日(月)

(3) その他

当該株式分割による影響については、「1株当たり情報」に記載してあるとおりであります。

2【その他】

平成25年5月9日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

- (1) 配当金の総額 106,866千円
- (2) 1株当たりの金額 25円00銭
- (3) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成25年6月7日

(注) 平成25年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月7日

株式会社ソフトクリエイトホールディングス
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 坂田 純 孝

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 日 高 真 理 子

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ソフトクリエイトホールディングスの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ソフトクリエイトホールディングス及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。